

新時代を
駆ける

プロローグ

夢に挑む若者たち

2019年が明けた。本年は元号が変わり、新しい時代を迎える。とはいえ、明るい未来が開けているわけではない。少子高齢化が猛烈な勢いで進み、社会の活力の減退が懸念される。東播地域も例外ではない。そんな時代の中で、もがきながらも夢に向かって努力を重ねる若者たちがいる。新年第1弾の記事は、新時代を駆ける若い力を紹介したい。

「オッケー！ぐるぐる！」。おきまりの自己紹介ギャグで会場を沸かせるのは、高校生漫才コンビ「アンドロイド」。2017年夏、高校生の漫才コンテストで優勝し、瞬く間に時の人となった。人気芸人と舞台に立つ一方、地元の公民館などのステージにも登場する。高校卒業後は大阪に移るが、「ぶっちゃけ播州に居続けたい。でも、今は挑戦の時。漫才界のてっぺんをとりたい」（津田和納）

漫才コンビ アンドロイド

岸翔大さん(18)

岡島晃佑さん(17)

